

レファレンス  
余話

ある年の3月、一枚の葉書が参考調査の係に舞い込んで来た。内容は次の如きものであった。

- ①ソヴェト東洋学 1958年3～5号
- ②東洋学の諸問題 1959年1号
- ③アジア・アフリカ諸民族 1962年2号以上①～③の所蔵の有無。
- ④コヴァレフスキー「共同体的土地所有、その解体の原因、過程および結果」の邦訳の有無。

一見した所、①②③と④は無関係のようであったが、調べてみると意外な事が判明した。

先ず最初に①～③は雑誌名と思われたが、勿論和雑誌目録には無く、ロシア語の日本語訳と考えられるので、相応するロシア語雑誌名を想定、当館所蔵の洋雑誌目録に当る。かくして「ソヴェトコエ・ヴォストコヴェージェニエ」、「プロブレムイ・ヴォストコヴェージェニヤ」、「ナロードヌイ・アジイ・イ・アフリキ」と確定、しかも該当巻号を所蔵することもわかった（当館請求記号Z51—G274）。問題は④である。

戦前戦後の著者目録、各種冊子目録類で「コヴァレフスキー」の項目を見たが、邦訳は無いようだ。念のため「人物文献索引」や伝記、辞書類に当たったが、結局見付から

ない。全訳が無いことはわかったが、それでは部分訳も存在しないのか。それを調査中、マルクスが本書を読んでいる、との情報があった。大月書店版「マルクス・エンゲルス全集」補巻に収録されている、との事。早速現物に当たってみると確かにある。補巻4のコヴァレフスキー『共同体的土地所有・・・』がそれである。質問文の「・・・解体の原因、過程・・・」が「・・・解体の原因、経過・・・」となっていることを除いては同一である。

一方、訳文の前頁、訳者ノートの部分で訳者は「共同体的土地所有・・・」の関係論文に言及、それが何ぞ計らん、最初に取り上げた資料①～③だったのだ。かくして①～③と④はその出所が「マルクス・エンゲルス全集」だったことが判明、念のため右論文の所在箇所を案内した。唯、質問者は資料の所蔵のみを質問しているので、該当論文まで言及したのは、行き過ぎだったのではないかと、若干反省しつつ回答文を認めた次第である。

なお当館は④の原書を所蔵する。しかしフランクフルトでのリプリント版（1977刊当館請求記号DM123—16）である。また副産物、1960年モスクワで開催された第25回国際東洋学会議でガマコフとウリヤネフスキーによる共同発表「共同体的土地所有」（会議録第4巻 当館請求記号GE41—41）が発見できたのは、収穫であった。（中林）